

香港理工大出身の顧潔(ジェシカ)さんとは、2013年5月から彼女が東大籍を離れた一昨年10月まで、実に7年もつづく長い一対一交流でした。新領域創生科学研究科に在籍し、2017年9月に博士号を取得、ポスドクを経て離日後は上海に拠点を構えました。ところが、コロナ騒ぎで事情が一変、現在は北京の実家に滞在しています。

昨年10月、渡航の解禁直後に再来日したので1年ぶりに会いました。「仮想通貨」や「ブロックチェーン技術」をコアにして新金融システムを構築し、世界に散らばる同志をリモートでつなぎ、新ビジネスの基盤づくりで超多忙との話でした。来日の目的は、借りたまの柏のアパートを解約すること、ついでにGoToトラベルを利用して東北と北海道を周遊することだったとのこと。相変わらずの鮮やかな身のこなしです。

一対一交流は原則週1回、各2時間、柏キャンパスや柏駅近辺など臨機応変。学会や遊びを除き、ほとんど休まず7年間もつづいたのは、お互いに肩ひじ張らずに自然体で接したことがよかったようです。毎回新聞記事なども用意しましたが、ヘヴィーメタル(ロックミュージックの1派)が好きで、川崎のライブハウスの常連だったり、活動的で友だちが多い彼女ですから持ち込む話題が豊富。聞き役だけで2時間があっという間に過ぎました。サクラの時期に自宅へ来てもらったこともあります。動物好きの彼女が張り切って相手をしてくれたのに、興奮したわが家の黒柴が手に噛みつく事件があって、それ以来沙汰やみに。



<2015年そば屋で誕生日祝>

柏部会の大格さん(TECOB)と神崎さん(TECOG)にたいへんお世話になりました。大格さんのグループには垣根を越えて出入りし、神崎さんには、英語が堪能な彼女のために英会話スクールのバイトの口を見つけていただきました。しかし、彼女が優秀な証拠でしょう、在籍中に日本学術振興会の特別研究員に前後2回採用され、その期間はバイトが許されず短期間でしたが、いろいろな職種や年齢層の日本人に教えた経験が、日本の知識を広げ、親近感を大いに深めたといえます。

わたしの高校時代の友人4人と永年つづけている月1回の読書会にも熱心に参加しました。場所は四ツ谷のホテルニューオータニ、きっぷのよい現役開業医が毎回費用を持ってくれ、バイキングを心置きなく楽しみながら、前月に皆で選んだ著書について議論します。ここでは聞き役でしたが、じいさんばかりのグループに彼女が花を添え、時々話に口を突っ込むようにもなりました。中国事情については、まさに生き字引でした。

1つだけ反省点があります。わたしは、2006年から中国の地方大学で2年半、日本語学部の老師として日本概論や商務日本語などを教えました(注)。日本語能力試験1級(N1)の対策にもさんざん苦労したので、その気になれば特訓はお手のものです。しかし、彼女については、体系的に指南した覚えがありません。そもそも研究現場での日本語のニーズが少ないためか、リクエストがなかったことも一因でした。N1の資格があれば、ポスドク中に日本で就職する機会を得たかもしれず、惜しいことでした。

注：2006年の会報に経緯が載りました。